

いちかわ  
市川

しんいち  
森一



\* 昭和16年 4月17日 諫早市生まれ  
\* 平成23年 12月10日 没 (70歳)

## ○ 略歴

昭和41年 「快獣ブースカ」で脚本家デビュー  
以後テレビを中心に、大河ドラマ「黄金の日日」「山河燃ゆ」「花の乱」  
などを手がける。

日本放送作家協会理事長、シアター1010館長、諫早市立諫早図書館名誉館長、  
長崎歴史文化博物館名誉館長を務めた。

## ○ 主な受賞歴

〈ドラマ〉

昭和56年 芸術選奨文部大臣新人賞 「港町純情シネマ」  
昭和58年 第1回向田邦子賞 「淋しいのはお前だけじゃない」  
平成元年 芸術選奨文部大臣賞 「明日1945年8月8日・長崎」  
「もどり橋」「伝言」  
平成11年 モンテカルロ国際テレビ祭最優秀脚本賞 「幽婚」

〈映画〉

平成元年 日本アカデミー賞最優秀脚本賞 「異人たちとの夏」  
平成13年 日本アカデミー賞優秀脚本賞 「長崎ぶらぶら節」

〈演劇〉

昭和54年 大谷竹次郎賞 「黄金の日日」  
平成15年 NHK放送文化賞、紫綬褒章  
平成23年 旭日小綬章、長崎県 県民栄誉賞

## ○ その他の代表作

傷だらけの天使（昭和49）、黄色い涙（昭和49）、万葉の娘たち（昭和56）、  
親戚たち（昭和60）、夢暦 長崎奉行（平成8）、蝶々さん（平成20）、  
幻日（平成23）